



2026年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社シンシア
コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5615)9059

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,935	24.1	143	6.4	139	0.8	68	22.6
2025年12月期第1四半期	1,560	2.4	153	119.5	138	79.9	88	149.9

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 55百万円 (216.4%) 2025年12月期第1四半期 17百万円 (90.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	10.48	
2025年12月期第1四半期	13.81	13.81

2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	5,514	2,763	50.1
2025年12月期	5,383	2,818	52.4

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,763百万円 2025年12月期 2,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期		0.00		17.00	17.00
2026年12月期					
2026年12月期(予想)		0.00		16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,657	2.7	388	25.9	362	29.6	246	6.6	37.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	6,862,200 株	2025年12月期	6,862,200 株
期末自己株式数	2026年12月期1Q	336,841 株	2025年12月期	328,741 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	6,529,822 株	2025年12月期1Q	6,402,888 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、継続的な円安の進行や物価上昇の長期化に加え、物流効率化を推進する過程において発生する一時的なコスト増加の継続、深刻な人手不足による人件費の高騰、さらに米国の通商政策を巡る不透明感、ウクライナ情勢や中東地域における地政学的リスクを背景としたエネルギー価格の高止まりなど、外部環境は依然として予断を許さない状況が継続しています。このような環境の下、当社グループは、外部環境の変化に対し耐性のある事業を推進するとともに、お客様に寄り添った製品の提供に注力いたしました。

コンタクトレンズ業界におきましては、少子高齢化による人口減少が進行する中においても、1日使い捨てコンタクトレンズへの需要シフトや、高機能新素材を用いた付加価値製品の拡大により、1人当たりの購入単価は堅調に推移しております。加えて、デジタル機器の普及により、若年層を中心に近視人口の増加が続いております。近年では、カラーコンタクトレンズ市場の拡大に加え、EC販売や定期配送サービスの利用拡大など、消費者の購買行動やライフスタイルの変化も市場成長を後押ししており、コンタクトレンズ市場は安定的な成長基調を維持しております。

このような環境の下、当社グループは、WEBを中心としたマーケティング施策の強化等により「シンシア S」シリーズの処方施設における売上拡大を図るとともに、フリー株式会社より譲受したカラーコンタクトレンズ事業の推進体制を拡充し、当社グループの事業の軸であるコンタクトレンズ事業の基盤強化を図りました。コンサルティング事業については、昨今の医療脱毛クリニック業界全体における事業環境悪化を受け、サポート料を見直すなどの柔軟な対応を実施するとともに、新たに海外から日本に進出する企業を支援する「薬事コンサルティング事業」を本格始動いたしました。また、システム事業については、成長するリユース市場において、リユース業界向けPOSシステムのニーズも拡大しており、その需要を取り込むべく、「メルカリShops」等の大手EコマースプラットフォームとのAPI連携を強化するなど、営業力等を強化してまいりました。

このような状況下、当社グループの主力事業であるコンタクトレンズ事業が堅調に推移したことにより、売上高は1,935,394千円（前年同期比24.1%増）となりました。利益面では、コンタクトレンズ事業における原材料費の上昇等の影響により、営業利益は143,271千円（同6.4%減）、経常利益は139,456千円（同0.8%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社の連結子会社である株式会社タロスシステムズにおいて、同社が利用するクラウドサーバーが第三者に不正利用されたことによるデータ使用料を臨時損失として計上した影響等により、68,458千円（前年同期比22.6%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(コンタクトレンズ事業)

当社ブランド製品につきましては、クリアレンズにおいて、シリコーンハイドロゲル素材のコンタクトレンズ「シンシアワンデー S」を中心に展開してまいりました。しかしながら、市場における競合製品との価格・販促競争の激化に加え、一部主要販売先における自社ブランド（PB）製品への切り替え等の影響を受け、乱視用を含む「シンシアワンデー S」の売上高は358,585千円（前年同期比6.8%減）となりました。この結果、当社ブランドクリアレンズの売上高は756,687千円（同6.0%減）となりました。

一方、カラーレンズでは、シリコーンハイドロゲル素材の「シンシアワンデー S クレシェ」の売上高が135,594千円（同33.6%増）と大幅に増加しました。また、「シンシア2ウィーク S クレシェ」も65,566千円（同5.8%増）と引き続き好調に推移しました。さらに、2025年3月に譲受したカラーコンタクトレンズ販売事業の売上が加わったことにより、当社ブランドカラーレンズの売上高は339,266千円（同71.2%増）となりました。

プライベートブランド製品につきましては、クリアレンズの売上高が524,901千円（同39.1%増）となり、カラーレンズについても、譲受したカラーコンタクトレンズ事業の売上が加わったことから43,041千円（同191.1%増）と大幅に増加しました。

他社製品につきましては、譲受したカラーコンタクトレンズ事業の売上が加わったことから127,416千円（同208.7%増）となりました。

これらの結果、コンタクトレンズ事業の売上高は1,792,373千円（同24.7%増）となりました。一方、原材料費の上昇等の影響により、セグメント利益は182,810千円（同5.9%減）となりました。

(コンサルティング事業)

コンサルティング事業につきましては、医療法人緑風会が運営する医療脱毛クリニックに対し、引き続き運営管理サポートを提供しております。自由診療市場における競争激化や消費者マインドの変化を背景に、当該業界を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いており、これを踏まえ当社においてもサポート内容および報酬体系の見直しを実施しております。その結果、既存のクリニック向けコンサルティング事業の業績は、前期と概ね同水準で推移いたしました。

一方、新たに海外から日本市場へ進出する企業を支援する「薬事コンサルティング事業」を本格的に開始し、当該事業においては順調に案件を獲得するなど、一定の成果が現れております。これらの結果、当セグメントの売上高は24,277千円(前年同期比86.7%増)、セグメント利益は15,099千円(同94.5%増)となりました。

(システム事業)

当社の子会社である株式会社タロスシステムズは、リユース業界向けPOSシステムのリーディングカンパニーとして、成長するリユース市場において、営業力強化、開発力強化に注力し、さらなるサービス品質の向上に努め、拡大する需要を取り込みました。また、今期より次期POSシステムの開発を新たに開始したことにより、開発関連コストが増加しました。その結果、売上高は118,743千円(前年同期比8.2%増)となった一方、先行投資負担の影響により、セグメント利益は14,896千円(同29.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,814,123千円となり、前連結会計年度末に比べ160,414千円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が19,484千円、デリバティブ債権が16,204千円、その他に含まれる前払費用が13,718千円それぞれ減少したものの、商品が213,918千円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は700,661千円となり、前連結会計年度末に比べ29,123千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が8,515千円、償却によりのれんが11,682千円、無形固定資産その他に含まれる顧客関連資産が4,533千円、有形固定資産が2,449千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は5,514,785千円となり、前連結会計年度末に比べ131,290千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,240,722千円となり、前連結会計年度末に比べ219,078千円増加いたしました。これは主にその他に含まれる契約負債が62,946千円、未払法人税等が56,054千円、その他に含まれる未払金が39,821千円それぞれ減少したものの、買掛金が356,360千円、その他に含まれる未払費用が32,351千円それぞれ増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は510,283千円となり、前連結会計年度末に比べ32,699千円減少いたしました。これは主に長期借入金が31,725千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,751,006千円となり、前連結会計年度末に比べ186,378千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,763,778千円となり、前連結会計年度末に比べ55,088千円減少いたしました。これは主に繰延ヘッジ損益が12,571千円、親会社株主に帰属する四半期純利益68,458千円の計上及び剰余金の配当111,068千円により利益剰余金が42,610千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.1%(前連結会計年度末は52.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年2月13日の「2025年12月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,658,880	1,654,415
受取手形及び売掛金	1,130,125	1,110,640
商品	1,094,286	1,308,204
貯蔵品	88,771	90,684
デリバティブ債権	146,774	130,570
外国為替差入証拠金	339,850	342,009
その他	268,689	251,227
貸倒引当金	△73,668	△73,629
流動資産合計	4,653,709	4,814,123
固定資産		
有形固定資産	60,013	57,563
無形固定資産		
のれん	369,401	357,718
その他	219,586	213,366
無形固定資産合計	588,987	571,085
投資その他の資産		
繰延税金資産	32,690	24,174
その他	55,113	54,844
貸倒引当金	△7,020	△7,006
投資その他の資産合計	80,784	72,012
固定資産合計	729,785	700,661
資産合計	5,383,494	5,514,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,729	456,090
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	217,912	197,931
未払法人税等	95,144	39,089
賞与引当金	15,969	39,002
株主優待引当金	5,946	—
その他	436,941	358,610
流動負債合計	2,021,644	2,240,722
固定負債		
長期借入金	464,682	432,957
長期預り保証金	13,000	13,000
繰延税金負債	65,301	64,326
固定負債合計	542,983	510,283
負債合計	2,564,627	2,751,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	285,975	285,975
利益剰余金	2,386,939	2,344,329
自己株式	△200,964	△200,964
株主資本合計	2,745,373	2,702,762
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	98,918	86,346
為替換算調整勘定	△25,424	△25,331
その他の包括利益累計額合計	73,493	61,015
純資産合計	2,818,866	2,763,778
負債純資産合計	5,383,494	5,514,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,560,062	1,935,394
売上原価	990,370	1,315,678
売上総利益	569,691	619,715
販売費及び一般管理費	416,672	476,443
営業利益	153,018	143,271
営業外収益		
受取利息	2,504	3,420
デリバティブ評価益	—	1,916
助成金収入	—	1,500
その他	99	137
営業外収益合計	2,604	6,973
営業外費用		
支払利息	5,471	6,467
為替差損	5,201	1,402
デリバティブ評価損	6,031	—
株式報酬費用消滅損	—	2,425
その他	535	493
営業外費用合計	17,239	10,789
経常利益	138,383	139,456
特別損失		
臨時損失	—	32,482
特別損失合計	—	32,482
税金等調整前四半期純利益	138,383	106,973
法人税、住民税及び事業税	25,955	25,425
法人税等調整額	23,993	13,089
法人税等合計	49,948	38,515
四半期純利益	88,435	68,458
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,435	68,458

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	88,435	68,458
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△77,826	△12,571
為替換算調整勘定	7,085	93
その他の包括利益合計	△70,740	△12,478
四半期包括利益	17,694	55,980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,694	55,980
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	805,354	—	—	805,354	—	805,354
カラーレンズ	198,217	—	—	198,217	—	198,217
プライベートブランド						
クリアレンズ	377,484	—	—	377,484	—	377,484
カラーレンズ	14,786	—	—	14,786	—	14,786
他社製品	41,278	—	—	41,278	—	41,278
その他	226	—	—	226	—	226
コンサルティング	—	13,000	—	13,000	—	13,000
システム	—	—	109,713	109,713	—	109,713
顧客との契約から生じる収益	1,437,348	13,000	109,713	1,560,062	—	1,560,062
外部顧客への売上高	1,437,348	13,000	109,713	1,560,062	—	1,560,062
計	1,437,348	13,000	109,713	1,560,062	—	1,560,062
セグメント利益	194,362	7,763	21,257	223,384	△70,365	153,018

(注) 1. セグメント利益の調整額△70,365千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンタクト レンズ事業	コンサルテ ィング事業	システム事 業	計		
売上高						
コンタクトレンズ						
当社ブランド						
クリアレンズ	756,687	—	—	756,687	—	756,687
カラーレンズ	339,266	—	—	339,266	—	339,266
プライベートブランド						
クリアレンズ	524,901	—	—	524,901	—	524,901
カラーレンズ	43,041	—	—	43,041	—	43,041
他社製品	127,416	—	—	127,416	—	127,416
その他	1,059	—	—	1,059	—	1,059
コンサルティング	—	24,277	—	24,277	—	24,277
システム	—	—	118,743	118,743	—	118,743
顧客との契約から生じる収益	1,792,373	24,277	118,743	1,935,394	—	1,935,394
外部顧客への売上高	1,792,373	24,277	118,743	1,935,394	—	1,935,394
計	1,792,373	24,277	118,743	1,935,394	—	1,935,394
セグメント利益	182,810	15,099	14,896	212,806	△69,534	143,271

(注) 1. セグメント利益の調整額△69,534千円は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 当第1四半期連結累計期間より、コンタクトレンズ事業の顧客との契約から生じる収益を分解した情報について、従来「プライベートブランド」に含めておりました「他社製品」は管理区分の見直しにより新たな区分として表示することといたしました。これに伴い前第1四半期連結累計期間についても変更後の区分により作成しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	8,538千円	8,669千円
のれんの償却額	23,989千円	11,682千円